

鬼ごっこ協会のライセンス保持者の属性の考察
 (所属)鬼ごっこ総合研究所 研究部長 羽崎貴雄

キーワード：ライセンス制度

【研究背景】

鬼ごっこ協会のライセンス保持者がどのような属性を持っているかの研究をすることで、今後の広がりに対する予測や戦略に役立てるようにする。

【鬼ごっこ協会のライセンス保持者の目的】

鬼ごっこ協会のライセンス保持者のライセンス保持の目的と地域は以下の通り（図1, 2）である

図1：ライセンス保持者の活用方法

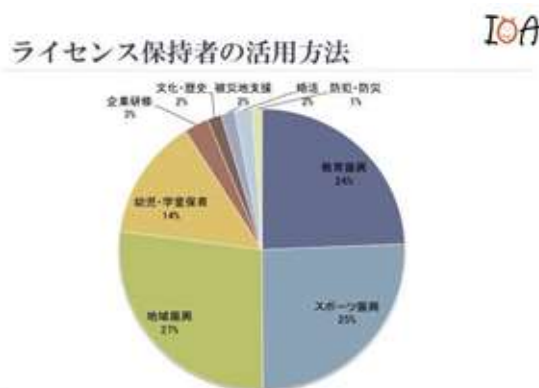
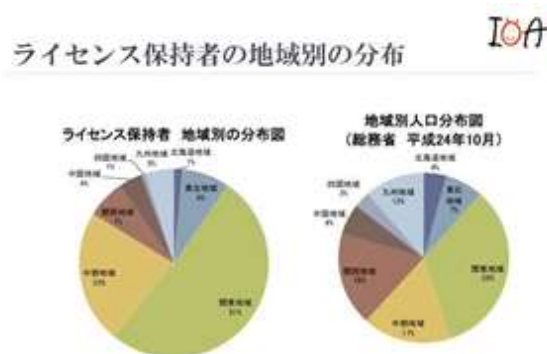


図2：ライセンス保持者の地域別の分布



引用：鬼ごっこ協会 HP

引用：鬼ごっこ協会 HP

・目的においては地域振興、スポーツ振興、教育振興が 25%程度でほぼ横並びである。ついで、幼児・学童保育が続いている。その他、少ない数だが、他のスポーツにはなかなか目的として上がらないような目的のライセンス保持者がいる。

・地域別の分布は関東が約半分で中部地方が次に多い地域となっています。ついで、東北、関西、九州、中国、四国となっています。全国の地域人口の分布と比べると、関東と中部で人口分布より大幅に多く、関西が大幅に少ないデータとなっている。

【考察】

スポーツ鬼ごっこのライセンス保持者の目的は個人個人によって様々であるという結果が出ている。スポーツのライセンスは基本的にスポーツ振興が目的のものが多く、スポーツ鬼ごっこに関してはむしろその割合は多くない。様々な目的でライセンスを取得することで、スポーツ鬼ごっこの多角的な広がりを見せている可能性がある。また、地域別の取得者数に関しては東日本に多くいて、西日本はまだまだ取得者数は少ない。今後西日本にどのように普及していくかが今後の課題である。

【参考】

鬼ごっこ協会 HP : <http://www.onigokko.or.jp/>